

2011年（平成23年）度第4回常務理事会記録

日時 2011年（平成23年） 3月27日（日） 12:00～13:40

場所 東京大学医学部教育研究棟2階 第4セミナー室

出席者：内山安男（理事長）、牛木辰男、岡部繁男、河田光博、藤本豊士（以上常務理事）、竹田扇（常任幹事）、天野恵子、中村聡、川村知子（以上、口腔保健協会）

陪席者：高田邦昭（次期理事長）、渡辺雅彦（次期常務理事）

<理事長挨拶>

東北地方太平洋沖地震に伴って全国学術集会在誌上開催になったこと、並びにその事後処理に関して報告と説明があった。

I. 会議記録の確認

2011年（平成23年）度第1回常務理事会（平成23年1月30日開催）記録（案）

2011年（平成23年）度第2回常務理事会（平成23年2月10日開催）記録（案）

2011年（平成23年）度第3回常務理事会（平成23年2月22日開催）記録（案）

2011年（平成23年）度第1回理事会（平成23年1月30日開催）記録、同議事録（案）

2011年（平成23年）度第2回理事会（平成23年2月14～16日開催）記録、同議事録（案）

2011年（平成23年）度第3回理事会（平成23年2月23～28日開催）記録、同議事録（案）

II. 報告事項

1. 庶務報告（岡部庶務担当理事）

(1) 会員異動報告

平成23年1月分（入会者 正会員44名、学生 56名、退会者 正会員 16名、学術評議員 2名）

平成23年2月分（入会者 正会員6名、学生 6名、退会者 正会員 9名、名誉会員 2名、賛助会員1名）

逝去会員：

今西市治氏（広島大学名誉教授/名誉会員）平成16年2月14日逝去（享年85歳）

邑本正義氏（正会員）平成22年6月21日（享年62歳）

重永凱男氏（大阪大学名誉教授/元・理事）平成22年12月17日逝去（享年71歳）

瀬戸口孝夫氏（長崎大学名誉教授/名誉会員）平成22年12月22日逝去（享年88歳）

滝本 保氏（三重大学名誉教授/名誉会員）平成23年2月26日逝去（享年87歳）

水平敏知氏（東京医科歯科大学名誉教授/名誉会員）平成23年3月1日逝去（享年89歳）

逝去会員追悼記事の執筆を故人と関係のある会員に依頼する事になった。

(2) 年会費納入状況について（長期未納者の除名について）

資料に基づいて説明があり、賛助会員の長期未納者、並びに評議員以外で4年以上未納の者は除名とすることにした。

(3) 学会宛文書類について

① 通知・依頼：3次元コンファレンス2011実行委員会より「3次元コンファレンス2011協賛のお願い」他42件の通知・依頼あり。

② 書籍・定期通信等：厚生労働省より「医薬品・医療機器等安全情報Vol. 276」他12件あり。

(4) 「献体及び死体の使用に関する法律案」に対する対応について

配布資料に基づいて説明があり、3月13日に予定されていた標記議事に関する打合せが延期になった旨の説明があった。

(5) 日本医学会医学研究のCOIマネジメントに関するガイドラインについて

配布資料に基づいて説明があり、種々の意見交換が行われた。

(6) その他

特になし

2. 編集報告（藤本編集担当理事）

(1) 解剖学雑誌及びA S I 刊行報告

配布資料に基づいて説明があり、支部会の抄録を掲載する必要がなくなったので、今後解剖学雑誌の在り方を考えていった方がよい旨が提案された。また、内山理事長から世界各国の献体状況に関する報告書の掲載に関して、牛木理事から将来計画WGの答申の掲載に関して、それぞれ提案があった。

(2) その他

特になし

3. 企画・渉外報告（河田企画・渉外担当理事）

- (1) 第116回日本解剖学会総会・全国学術集会開催方法変更について
資料に基づいて説明があり、紙上開催の場であるJournal of Physiological Scienceが参加登録者のみに配布される事が確認された。
 - (2) 生科連加盟学会平成23年版パンフレットについて
資料に基づいて説明があり、パンフレットを評議員全員に配布することが確認された。
 - (3) 第28回日本医学会総会開催方法変更について
集会、講演会が中止になったこと、一部の講演はDVDで開催する事が報告された。
 - (4) 東北地方太平洋沖地震における日本医学会の対応について
資料に基づいて説明があった。
 - (5) その他
医学会の定例評議会での「人体の不思議展」に関する問題が提議され、医学会として今後対応を考えていく事が紹介された。種々の意見交換が行なわれた。
4. 会計報告（牛木会計担当理事）
- (1) 平成23年度中間決算書について
資料に基づいて説明があった。
 - (2) その他
特になし

III. 審議事項

1. 新入会員の承認について
新規入会者リストが確認され、全会一致で承認された。
2. 平成22年度決算および業務監査報告について
資料に基づいて説明があり、監査が適正に行われたこと、解剖学振興基金の運用に関して検討が必要であること、が紹介された。また、永年会員会費を上げることが提案され異議なく承認された。
3. 平成23年度予算について
資料に基づいて説明があり、全件全会一致で承認された。また解剖学振興基金の今後の運用に関して様々な意見交換が行われた上で、今後の取扱いに関しては次期執行部の判断に委ねることとした。
4. 平成23年度総会・学術評議員会資料および議事進行の確認
資料に基づいて主に報告事項の変更点に関しての説明があった。まず学術評議員会の議長として医科歯科大高野吉郎氏、同寺田純雄氏、書記として東大吉川雅英氏、署名人として東大武井陽介氏、同田中慎二氏がこれにあたる事が紹介された。公印に関する規程が紹介された。解剖技術士の認定クラス分類の変更、学術評議員選出規約の変更、解剖学雑誌の投稿規程の変更、奨励賞の規約変更、人体標本の展示に関して説明があった。審議事項に関して資料に基づいて順番に説明が行われた。以上全会一致で異議なく承認された。
5. 一般社団法人への移行と定款案について
ワーキングGの審議結果に関して、口腔保健協会天野氏から以下の大きな変更点4点に関して説明があった。その上で審議が行われ全件下記の内容で承認された。
 - (1) 日本解剖学会定款（以下定款）第4条と第5条に関して他の学会との連繋という視点からの改定案が提示され、第4条の「関連」を削除、第5条の(5)の「関連」を削除する事で意見を集約した。これら以外の項目は従前の定款を踏襲することとした。
 - (2) 定款第34条に関しては、「会員総会」を定款に盛り込まないこととした。
 - (3) 定款第6章の学術集会に関する条項が不必要なので削除することとした。学術集会に関しては別途規則を設けて定義することとした。
 - (4) 日本解剖学会代議員選出細則（案）の第4条(2)に「社員総会において」を追記することとした。
6. ASIの出版契約について
ASIの刊行委託先選定のための入札に関する説明があり、全会一致で異議なく承認された。
7. 第116回日本解剖学会総会・全国学術集会開催方法変更に伴う問題について
資料に基づいて、主に紙上開催になった事に伴う会費等の処理方法に関する説明があった。集会は中止であるが学会としては紙上開催にした為、参加費の返金はない事が確認された。基金や積立金に関しての種々の意見交換が行なわれた。本件は異議なく承認された。
8. 持ち回り支部長会及び理事会での報告・審議事項について
資料に基づいて説明があった。議事の削除、追加、変更等に関する提案があり、異議なく承認された。
9. その他
特になし